

論語教室だより

『寺子屋・こども論語塾』世話人会
第 11 号
2012 (平成24) 年2月18日 (土)

おん こ ち しん 温 故 知 新 為政第二・⑪

寺子屋・こども論語塾 主宰 新田 修

今月で為政第二篇(第一章～第二十四章)を終えることになります。この篇には、「仁」という言葉が一度も出てきませんでしたね。また、お弟子さんである子遊や子夏が、親孝行について質問したのに対し、孔子先生の答えがそれぞれ違うのは、その人間の性格や日頃の行いなどに応じて答えたからなのです。

つまり、孔子先生は「親孝行」とは、いかなるものであるかということ、理屈で教えるのではなく、それぞれの人に合った具体的な親孝行のあり方を教え諭したのです。現代でいえば「個性教育の尊重」を、2500年前の中国の孔子先生が既に実践していたことになるわけですから驚きです。

ところで冒頭の「温故知新」という言葉は、為政第二の第十一章でふれた「古きを温ねて新しきを知る、以て師となるべし。」からとった四字熟語ですよ。

「温故知新」とは、「昔の人の教えや過去の歴史をよく学び、その中から新たな知識や考え方を得ることができる」という意味です。つまり、古い学問には、人としての大切な教えがいっぱいつままっているということなのです。

私達は新しいことには関心を示しますが、古いことには意外と無関心になりがちです。新しいことを知るためには、まず古いことをしっかり知る必要があるということです。心したいものですね。

★ 塾 生 紹 介 ★

みちはた こうすけ 道端 康介君	<氏 名>	かいどう はな 街道 花さん
札幌市立北野台小学校5年	<学校名・学年>	たかだい 千歳市立高台小学校2年
プール学習	<好きな教科>	図工・国語・音楽・体育
外遊び	<趣味・好きなこと>	本を読むこと、体を動かすこと
お父さん	<尊敬する人>	新田先生と家族と学校の先生
ハンバーグ	<好きな食べ物>	餃子、ステーキ、フルーツポンチ
テニス、ピアノ、パレー、登山	<特技>	ピアノ、走ること
先生にお便りをくれた康介君は「仁の心を持つ人になりたいと思います」と書いてありました。先生感激したのを決して忘れません。啓介君と兄弟でお父さんを啓介君と兄弟でお父さんを尊敬しているのです。康介君は特技がたくさんあって羨ましいです。これからも兄弟仲良く論語塾に来てくださいね。	<先生のコメント>	花さんはチビッコ弁論に出場してくれました。ハキハキとした立派な発表でした。尊敬する人の一人に新田先生を入れてくれすごく嬉しいです。本を読むことが好きでピアノが得意で自分の考えをはっきり言える花さんは、誰からも好かれる素敵な女の子だと先生は思っています。妹さんの夢さんとこれからも論語塾に来てください。

※ 来月は、街道 夢さんと深見 理良さんを紹介します。